

投稿規定

1. 日本保険医学会誌は保険医学に関する学術論文を広く掲載し、もって保険医学の進歩発展に寄与することを目的とする。
2. 原稿の投稿は会員の資格を問わず広く受け付ける。
3. 投稿原稿を以下の6分類とする。
 - (1) 原著: 独創的な研究論文および科学的な観察
 - (2) 総説: 研究・調査論文の総括および解説
 - (3) 事例報告: 診査, 引受, 支払, 裁判例など
 - (4) 論考(主張): 保険医学・実務についての提案・提言
 - (5) 報告: 学会参加報告, 各分野・各地域に関する情報など
 - (6) その他: 資料, 抄録, 著書や論文の紹介, 紀行文など
4. 原稿の種類により体裁を統一する。
 - (1) 原著
表題, 要旨(背景, 方法, 結論), キーワード, 本文(はじめに, 方法, 結果, 考察), 引用文献
 - (2) 総説
表題, 要旨(段落分けなし), キーワード, 本文(はじめに, 主文=適宜段落分け, おわりに=結論・今後の展望など), 引用文献
 - (3) 事例報告
表題, 要旨(段落分けなし), キーワード, 本文(事例提示, はじめに, 考察), 引用文献
 - (4) 論考(主張)
表題, 要旨(段落分けなし), キーワード, 本文(はじめに, 本文=適宜段落分けまとめ), 引用文献
 - (5) 報告
表題, 本文(適宜段落分け), あれば参考文献
 - (6) その他
表題, 本文, あれば参考文献
5. 投稿原稿の採否ならびに掲載希望項目区分の決定などは査読者の意見を基に会誌委員会にて検討し、会誌幹事より著者に連絡する。
6. 投稿料は無料とする。掲載原稿に対しては別刷30部までを無料とする。30部を超える分については実費を徴収する。
7. 原稿の投稿はCD-R, USBメモリ等の電子記録媒体を用いることが望ましい。投稿した電子記録媒体は原則として返却しない。また、電子メールでの投稿も可とする。ファイルの形式は、マイクロソフト社のWord書類(.docまたは.docx)とする。電子記録媒体にて投稿する場合には、以下をラベルに必ず記入すること。
 - ①原稿名
 - ②著者名
 - ③PCの場合OS名、使用ソフトおよびそのバージョン
 - ④掲載希望の項目区分なお、投稿時に著作権譲渡同意書並びに誓約書を添付すること。
8. 規定枚数
原稿の種類によらず、要旨, 図, 表および写真を含めて原稿用紙40枚程度を限度とする。なお、枚数については20字×20行の400文字を原稿用紙1枚として算定する。図, 表及び写真は16枚程度を限度とし1枚につき原稿用紙1枚(400字)程度に数える。
9. 投稿原稿の執筆要領
 - 1) 原稿表紙
 - ①表題 英文併記
 - ②執筆者名(フリガナも記入) 英文併記
 - ③所属 英文併記
 - i 原則として研究時の所属名とする
 - ii 現在の所属(研究時の所属と現在の所属が異なる場合に記入)
 - ④キーワード(3~5語) 英文併記
 - ⑤掲載希望項目区分
 - ⑥別刷希望部数なお、所属については、会誌への掲載にあたり、原則として研究時の所属名を執筆者の下におく。研究時の所属と現在の所属が異なる場合は、*を付し、下欄の英文執筆者名の横におく。
 - 2) 要旨
400字以内の要旨を、独立したページに『要旨』として記載のこと。要旨の英訳文を該当原稿に続けて併載するので、英文の要旨も『ABSTRACT』として同様に記載することが望ましい。ただし、表題・要旨に対して、ネイティブチェックを行うこと。また、英文の要旨の作成・ネイティブチェックは学会事務局にても可能。
 - 3) 本文
横書き、口語体、当用漢字、現代かなづかいを基準とする。全ページ通しで行番号を付与する。医学用語は『日本医学会 医学用語辞典』に、保険医学用語は『保険医学用語集』に、それぞれ準拠する。
ご参考
・日本医学会 医学用語辞典 WEB版
<http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>
 - 4) 図・表・写真
 - ①図および表はA4判紙を用いる。
 - ②写真は、裏に鉛筆にて軽く、著者名、写真番

号を書く。

③マイクロソフト社パワーポイント、エクセルで作成された図・表は、原本ファイルの投稿が望ましい。

5) 文献

引用文献は本文中の引用箇所括弧にて括った番号にて右肩小文字で明記する。

例：山田等によれば、人口構成の高齢化は加速度的に進行する¹²⁾。

文献は引用順とし、次の要領による。

①雑誌の場合

著者名(3名までを記し、4名以降は他または et al にて省略する)。表題。冊子名。発行年(西暦); 巻: 頁一頁。

例1: 田村光司、笠貫宏、細田瑛一、他。循環器疾患の予後。日本保険医学会誌。2000; 98: 135-155。

例2: Burt VL, Whelton P, Roccella EJ, et al. Prevalence of hypertension in the US adult population. Hypertension. 1995; 25: 305-313。

②単行本の場合

著者名(3名までを記し、4名以降は他または et al にて省略する)。表題。編集者名(3名までを記し4名以降は他または et al にて省略する。最後の人名に“編”をつける)。書名(巻)。発行地: 発行所。発行年(西暦); 頁一頁。

例1: 岩佐寧, 石崎淳朗, 井上宏史, 他。100年史編集の方針。小林三世治, 五島良太郎, 大峰雅樹, 他編。雑誌編集の基本原則(3巻)。東京: 日本保険医学会。2002; 123-456。

例2: Bergstrom J, Alvestrand A, Bucht J, et al. Hypertension and its control in progressive renal failure. edited by Davidson AM. Nephrology(vol II). London: Baillere Tindall. 1987; 1192-1195。

③インターネットのサイトは、他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用してもよいこととする。この場合は、サイト名とアドレスを簡単かつ明確に記載するとともにアクセスした年月日も付記すること。

例1: 厚生労働省 一般職業紹介状況(職業安定業務統計)。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/114-1.html>(2014年4月15日アクセス可能)

例 2 : World Health Organization.

Classifications, List of ICD-O-3 Updates.

<http://www.who.int/classification/icd/updates/icd03updates/en/>(2014年6月12日アクセス可能)

10. 著作権

日本保険医学会では第三者による掲載記事・論文等の無断転載等がおこなわれないように、著者より印刷物・電子情報・電子記録媒体物の著作権の譲渡を受けて管理する。掲載記事・論文等の著者全員は以下の事項を確認の上了承いただきたい。著作権譲渡同意書並びに誓約書は綴り込みのもの(コピー可)を使用するか、本会ホームページからダウンロードして使用すること。

①著者自身が、自分の記事・論文等の全文または一部を複製、翻訳・翻案などの形で利用する場合(電子情報・電子記録媒体のものを含む)、本会ではこれに対して原則的に異議申し立てをしない。ただし、著者自身でも、全文を複製の形で他の著作物に利用する場合に限り、事前に本会へ文書で届け出て了解を得る必要がある。

②第三者から記事・論文等(電子情報・電子記録媒体のものを含む)の複製あるいは転載に関する許諾の要請があり、本会において必要と認めた場合は、著者に代わって許諾することがある。

11. 利益相反

利益相反については、本会の自己申告基準に照らし対応すること。自己申告によるCOI報告書は本会ホームページからダウンロードして使用すること。

12. 送付・照会先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
生命保険協会内
日本保険医学会 会誌委員会

電子記録媒体入稿に関する問い合わせは「日本保険医学会事務局」まで。

電話 03-3286-2673

FAX 03-3286-2674

E-mail aimj1901@car.ocn.ne.jp